

- 問1 茨城県ひたちなか市の阿字ヶ浦駅から観光地に向けて計画されている「交通網の整備」に関する説明として、地域の活性化や利用者の視点から述べたものとして最も適切なものはどれか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 鉄道の延伸によって目的地までのシームレスな移動が可能になり、観光客の増加や地域の利便性の向上が期待されている。 | 2. 環境保護のために鉄道の運行本数を半分に減らし、駅から観光地までは徒歩での移動を義務付けることで、健康増進を図る。 | 3. 新駅の建設を中止し、代わりに駅周辺に巨大な駐車場を整備することで、観光地周辺のすべての交通を自家用車中心に切り替える。 | 4. 鉄道利用者を減らすためにバスの運賃を大幅に値下げし、公共交通機関同士の競争を促すことでサービスの質を高める。 |
|--|---|--|---|
- 問2 茨城県や千葉県、群馬県などの関東地方の各県で行われている農業は、東京都という巨大な消費地に隣接または近接している利点を活かしています。この地域で行われる農業が、遠方の産地と比較して経営面で有利であるとされる主な理由として、最も適切な説明はどれか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かして、他の産地の出荷が終わった夏から秋にかけて野菜を出荷できる点。 | 2. 消費地までの距離が短いため、輸送費を抑えることができ、収穫したばかりの新鮮な農産物を出荷できる点。 | 3. ビニールハウスや温室などの施設を利用することで、自然の条件よりも早い時期に収穫し、品薄な時期に高値で販売できる点。 | 4. 広大な土地を利用して、機械化を大規模に進めることで、小麦や大豆などの穀物を低コストで大量に生産できる点。 |
|--|--|--|---|
- 問3 群馬県北部の地点から南東の埼玉県側の地点を結ぶ地形の断面的な特徴について、その標高の変化を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 群馬県北部から埼玉県にかけて標高の差がほとんどなく、全域にわたって標高100メートル以下の平坦な土地が広がる地形 | 2. 標高2000メートルを超える北部の険しい山地から、南東へ進むにつれて標高が急降下し、広大で平坦な関東平野が続く地形 | 3. 南東側の平野部から北部の山地に向けて標高が緩やかに上昇し、標高500メートル程度のなだらかな丘陵地が続く地形 | 4. 北部の山地と南東の平野部の間に巨大な盆地が存在するため、中央部で一度標高が大きく下がった後に再び上昇する地形 |
|---|--|---|---|
- 問4 関東地方にある4つの都県の統計において、製造品出荷額が約17兆円と極めて高く、情報通信業の事業所数が258、漁獲量が290トンとなっている県はどこですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 千葉県 | 2. 東京都 | 3. 神奈川県 | 4. 埼玉県 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問5 成田国際空港を擁する千葉県の、訪日外国人観光に関する統計上の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 成田国際空港からのアクセスが良いため、延べ宿泊者数が延べ訪問者数を上回るという逆転現象が起きている。 | 2. 延べ訪問者数と一人当たりの旅行消費単価のどちらも全国最下位に近い水準であり、空港の活用が課題となっている。 | 3. 一人当たりの旅行消費単価が全国5位以内と非常に高い一方で、延べ訪問者数は全国平均を下回っている。 | 4. 延べ訪問者数は全国トップクラスであるが、一人当たりの旅行消費単価は全国でも極めて低い水準にある。 |
|---|--|---|---|
- 問6 関東地方の都県を比較した統計において、ある都県では、夜間人口（常住人口）に対する昼間人口の割合を示す「昼夜間人口比率」が117.8%という極めて高い数値を示しています。また、15歳から64歳の「生産年齢人口」の割合も周辺の県より高いという特徴があります。このような人口特性を持つ都道府県はどこですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 埼玉県 | 2. 茨城県 | 3. 東京都 | 4. 千葉県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問7 千葉県における「生活系ごみ」と「事業系ごみ」の排出状況の変化について、平成10年度と28年度の数値を比較した際の特徴として正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 事業系ごみの排出量が大幅に減少した結果、ごみの排出量全体に占める生活系ごみの割合が9割を超えている。 | 2. 生活系ごみと事業系ごみの双方が増加したことにより、1人1日あたりのごみ排出量の合計は過去最高を記録している。 | 3. 事業系ごみの排出量は全国平均よりも常に少なく抑えられているため、リサイクル率が全国で最も高い要因となっている。 | 4. 家庭から出る生活系ごみの削減が進んでいる一方で、排出量全体に占める事業系ごみの割合は高まっている。 |
|---|---|--|--|
- 問8 群馬県などの北関東や東海地方の工業都市では、南アメリカ出身の在留外国人が多く生活しています。これらの地域で、公共施設の案内板や広報紙が「日本語」と「ポルトガル語」で併記されている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 技能実習制度の拡充により、農業や漁業の技術を習得するために南アメリカ諸国から多くの若者が来日したため。 | 2. 1990年の入管法改正によって就労制限のない日系人の受け入れが始まり、ブラジルからの労働者が工業地域に定住したため。 | 3. 経済連携協定（EPA）に基づき、看護師や介護福祉士の国家資格取得を目指す東南アジア出身者が急増したため。 | 4. 高度経済成長期に、石炭から石油へのエネルギー革命の影響で失業した海外の炭鉱労働者を積極的に受け入れたため。 |
|--|---|---|--|
- 問9 関東地方のある県について述べた次の文のうち、昼夜間人口比率の観点から説明される現象として最も適切なものはどれか。なお、この県は人口密度が非常に高いものの、昼夜間人口比率は全国で最も低い水準にあります。 (2020年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 県外の都心部へ通勤・通学する人が多いため、昼間の人口が夜間の常住人口よりも少なくなる。 | 2. 大規模な工業地帯が形成されており、周辺の都県から多くの労働者が流入して昼間の人口が増加する。 | 3. 広大な農地が広がっており、居住人口そのものが少ないため、昼夜間人口比率の変動がほとんど見られない。 | 4. 県庁所在地を中心に商業施設が集中しているため、県内全域から買い物客が集まり昼夜間人口比率が100%を超える。 |
|--|---|--|---|
- 問10 関東地方の農業統計によると、茨城県はピーマン、ほうれん草、はくさい、レタスといった野菜の生産において全国でも有数の規模を誇っています。この地域で野菜生産が盛んになった理由として、地理的な背景と流通の仕組みから説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 標高の高い地域が多く、夏でも涼しい気候を利用して他の地域より遅い時期に出荷できるから。 | 2. 大消費地までの距離が近いため、輸送費を抑えながら鮮度を保ったまま出荷できるから。 | 3. 土地価格が非常に安く、広大な農地を確保して穀物生産に特化することが容易だったから。 | 4. 冬でも温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどを用いて出荷時期を早める工夫をしているから。 |
|--|---|--|---|
- 問11 群馬県の高原地帯で行われている「抑制栽培」について、農家がこの栽培方法を選択している経済的な理由として最も適切な説明を選択してください。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 冬の寒さが厳しいため、ビニールハウスを利用して成長を早める促成栽培を行う必要があるから。 | 2. 九州地方などの暖かい地域と出荷時期を重ねることで、市場でのシェアを競い合うため。 | 3. 平地での出荷が少なくなる夏から秋にかけて出荷することで、高い価格で販売できるから。 | 4. 大消費地である東京から遠いため、輸送コストを削減するために収穫時期を遅らせる必要があるから。 |
|---|---|--|---|